

令和5年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

事業名	地域情報サイトの新設と運用による地域コミュニティ活性化事業	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	地域情報デジタル化普及実行委員会	地域づくり課

事業費	予算額	決算見込額	市補助金額（交付確定額）
	386,698 円	159,921 円	140,000 円

【 ①目的・課題について 】

次の事項がわかるように、事業概要を記入してください。

○どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、

○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施したか。

区・自治会や地域防災、防犯、などの地域コミュニティ情報や地域文化の継承を行う為の地域情報の発信をデジタル化することにより地域コミュニティ全体の活性化を行う。何時でも何処でも地域情報が手軽に取得できる環境整備のための地域情報化事業です。昨今、地域の区、・自治会への関心や理解の欠如による自治会への不参加者への情報提供や新規入居者への地域情報を市役所カウンターで確認できるサイト、携帯端末（スマートフォン・タブレット）所持者への地域情報の配信サイトなどを作成して、地域コミュニティへの参加を促進する。

携帯端末に不慣れな所持者などに対する情報の提供や利用方法の指導なども含めたスマートホン相談室や講習会の実施を行うことにより情報弱者への生活支援活動を行う。携帯端末利用者への地域情報の提供手段を構築する、そのことにより地域防災への意識向上などを行う。

【 ②企画・効果 】

次の事項がわかるように、成果を記入してください。

○事業の内容が具体的で目標達成に向けて適切だったか。

○協働で行うことでどのような効果が得られたか。

○住民の満足度は得られたか。 ○他の団体との連携や協力により効果をあげたか。

○事業を行うことで、市民や地域、他の団体への波及効果（広がり）はあったか。

現在作業を進めていますが事業全体での成果を判定することは現状では困難ですが、ホームページのコンテンツを作成する中で、これから充実させたい内容についてのアイディアがそれぞれの区・自治会で出てきていることから、今後のホームページの充実が期待できます。

制作した区・自治会では今後とも情報のデジタル化には前向きに対応いただき、更なるデジタル化による情報の発信の検討をいただいています。

協働による効果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
☐ 効果があった ☒ 概ね効果があった ☐ あまり効果はなかった。 （理由） ホームページの作成過程で複数の区・自治会と連携し、議論する中で今後の課題を浮かび上がらせることができた。	☐ 効果があった ☒ 概ね効果があった ☐ あまり効果はなかった。 （理由） 区・自治会加入率が低下している中で、デジタルを活用して、必要な地域情報を発信することは、地域コミュニティの活性化に繋がっている。

【 ③実行力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
Web サイトのコンテンツ作成と運用	・ 広報を活用し、事業の周知を図った。

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価（☒）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
☒ 適正であった ☐ 概ね適正であった ☐ あまり適正でなかった （理由） 発信すべき情報は発信者のみが知っている 為	☐ 適正であった ☒ 概ね適正であった ☐ あまり適正でなかった （理由）

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
増穂情報サイトは4本のコンテンツを中心に計画を行う。 1. 区、自治会情報 2. 地域防犯情報 3. 地域防災情報 4. その他、中学校との協働事業 ◎区自治会情報は年間21の区自治会を月間2つの自治会をターゲットに制作 ◎地域防災は各自主防災組織のインタビューを行い月の1の自主防災組織のサイト制作 ◎地域防犯は防犯灯管理の仕組みを中心に防犯情報を制作 ◎協働制作を中学校の生徒がコンテンツを制作 ◎増穂 Web のコンテンツ管理を増穂中学生に部活として依頼 等を計画していました。	4月～7月 増穂地区区長会での情報提依頼を行う 中学校との協働で中学生が見た大網白里市と将来像のコンテンツを依頼。 8月～10月 防災関連の情報を検討、地域防災連絡協議会などを計画し開催。 地域防災のあり方を検討。→結果につながらず！ 11月～12月 中学生コンテンツの集約とコンテンツ精査 コンテンツ確認作業と公開サイト制作 防災情報は毎年の増設防犯灯情報を確認する方法を確認 1月～3月 制作したサイトへの各サイト情報を情報を Web ページに作成して順次、サイトへアップロード 最終的に自治会サイトが4サイト（木崎区柿餅区、弥幾野自治会、上谷新田区）仕掛が1サイト（富田東）の状態。 地域防災サイトへのリンクと地域防犯のサイトへのリンクと防犯灯情報の掲載 中学生コンテンツのなどを掲載 中学生でのコンテンツの運用管理は実現しませんでしたので別のアプローチを検討中。

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
☐ 適正であった ☐ 概ね適正であった ☒ あまり適正でなかった （理由） アプローチの仕方の問題と想定以上のデジタル文化への拒否感が強いことが進捗状況に影響を与えているように思います。

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

（例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。）

また、2年目、3年目の事業については、1年前、2年前と比べて、事業を継続したことで得られた効果も記入してください。

初年度での実績からいろんな状況が見えてきているように思います。 1 地域上の中で重複した情報の一元管理などの課題 2 地域情報で眠っている情報の活性化方法 3 設備などの運用管理の一元化 4 中学生コンテンツの今後の可能性 等がいろんなかたちで見えてきていることが今後の活性化につながるように考えています。

また、その結果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
☐ 強化、活性化した ☒ 概ね強化、活性化した ☐ あまり強化、活性化しなかった (理由) 次の課題が見えてきました

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

【団体】 協働事業としての行政サービスにつながる方向には進んでいるとは考えている。 行政側に期待し、実現できなかった市役所内でのフリーWi-Fi サービスが始まればさらに効果が出ていたと思う。
【市】 地域情報を掲載するウェブサイトを立ち上げ、区・自治会等の情報を発信することは、加入率の増加・地域コミュニティの増加に繋がっている。 また、中学校と連携し、総合学習の中で生徒に地域情報を集めてもらい、データとして集約・編集等をしており、生徒のデジタルへの関心・知識の向上にも繋がっている。 今後は、地域の団体等と連携し、掲載する情報や関わる人を増やしていくと、活動の幅も広がってくる。

また、その協働による効果について、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
☐ 効果があった ☒ 概ね効果があった ☐ あまり効果はなかった。 (理由)	☐ 効果があった ☒ 概ね効果があった ☐ あまり効果はなかった。 (理由)